

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2017年9月調査)

1. 業況判断

9月調査では、非製造業は前回調査から横ばいだったものの、製造業が改善したため、全産業では15と前回調査から7ポイント改善した。因みに、前回調査では改善、水準は12を予測していた。

製造業・・・輸送用機械などが改善したため、全体では17と前回調査から13ポイントの改善となった。前回調査では11ポイントの改善を予測していた。

非製造業・・・情報通信、電気・ガスは悪化したものの、運輸・郵便、宿泊・飲食・対個人サービスが改善したため、全体では12と前回調査から横ばいとなった。前回調査では2ポイントの悪化を予測していた。

先行き(12月予測)は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では9ポイントの悪化を予測。

2. 需給・在庫・価格判断

国内での製商品・サービス需給(製造業)・・・「供給」超幅は縮小。

製商品在庫水準(製造業)・・・「過大」超幅は拡大。

販売価格(全産業)・・・「下落」超に転化。

仕入価格(全産業)・・・「上昇」超幅は縮小。

3. 売上・収益計画

(1) 売上高

2017年度(計画)は、製造業は前年度比0.5%、非製造業は同1.2%の増収となり、全産業では同0.8%の増収計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率0.2%)は上方修正されたものの、製造業(同▲1.3%)は下方修正されたため、全産業では▲0.6%の下方修正となった。

(2) 経常利益

2017年度(計画)は、製造業は前年度比▲18.5%の減益、非製造業は同2.1%の増益となり、全産業では同▲12.9%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率 0.1%）は上方修正されたものの、非製造業（同▲3.8%）は下方修正されたため、全産業では▲1.2%の下方修正となった。

4. 設備投資計画等

（1）設備投資額（含む土地投資額）

2017 年度（計画）は、製造業は前年度比 68.2%、非製造業は同 10.9%の増加となり、全産業では同 43.2%の増加計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率 2.7%）、非製造業（同 8.5%）とも上方修正されたため、全産業では 4.6%の上方修正となった。

（2）生産・営業用設備判断

生産・営業用設備・・・ 製造業の「過剰」超幅は拡大したものの、非製造業の「不足」超幅も拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲5 と前回調査比拡大。

5. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業、非製造業とも「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲30 と前回調査比拡大。先行き（2017 年 12 月予測）の「不足」超幅は拡大を予測。

6. 企業金融

資金繰り判断（全産業）・・・・・・・・ 「楽である」超幅が拡大。

金融機関の貸出態度判断（全産業）・・・ 「緩い」超幅が拡大。

借入金利水準判断（全産業）・・・・・・・・ 「低下」超幅が拡大。

以 上